

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	流域下水道維持管理費負担事業						会計	款	項	目	大事	小事
政策	O1	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）						主管課	下水道建設課			
施策	1-4	快適な生活環境を目指した下水道整備の推進						主管課長	池田 輝昭			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	江戸川左岸流域下水道及び手賀沼流域下水道の利用者	意図	江戸川左岸及び手賀沼流域下水道施設の適切な維持管理費を負担する。
事業内容	汚水を処理するための江戸川左岸及び手賀沼流域下水道終末処理場の維持管理費を負担する。			
事業開始から現在までの状況変化	流域下水道の汚水処理開始（江戸川左岸：昭和61年度、手賀沼：平成4年度）に合わせ、本市から排出される汚水量に見合う処理経費等を、維持管理負担金として支出している。供用開始区域の拡大とともに、維持管理負担金も毎年増額となっている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名 称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	① 有収率	80.68	80.25	81.12	%	↗↗	年間汚水量／年間汚水処理量
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）	
事務事業のコスト	平成26年度	平成27年度	平成28年度			公共下水道への接続世帯の増加等により、維持負担金が増えている。	
事務事業の総コスト(a=b+c)	810,972,040	900,079,588	919,414,603				
事業費 (b) (円)	809,037,240	897,971,188	917,492,403				
うち一般財源	809,037,240	897,971,188	917,492,403				
職員給与費(c) (円)	1,934,800	2,108,400	1,922,200				
人役・職員(人)	0.28	0.28	0.28				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数 (年)（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき			A 対象者は適切である
						コストの削減
総合評価	II 繙 続	（事業を現状どおり継続すべき）				

(2) 事務事業の業務改善について

① 今年度(H28)の改善計画	老朽化した管渠等の調査を行い、修繕等の対策を講じる。コミプラ管等の古い管渠の入替を実施する。	③ 取組の課題	適正な調定汚水量を排出するため、不明水の防止策として、管渠等の調査を実施し不良な箇所は修繕等の対策を講じる。
② 今年度(H28)に実施した取組	引き継ぎ予定のコミプラ管渠の状況調査を実施した。	④ 今後の改善計画	不明水対策として、老朽化した管渠等の調査を行い、修繕等の対策を講じていく必要がある。また各家庭の誤接続も不明水の原因となるため、接続時の完了検査の際に、十分に確認を行う。